

決算説明会資料

～2012年3月期 第2四半期～

説明会開催予定日
2011年11月7日(月)

日本ハム株式会社

目次

- I . 2012年3月期 第2四半期連結業績の総括
- II . 2012年3月期 下期以降の見通し
- III . 2012年3月期 第2四半期財務データ

I . 2012年3月期 第2四半期連結業績の総括

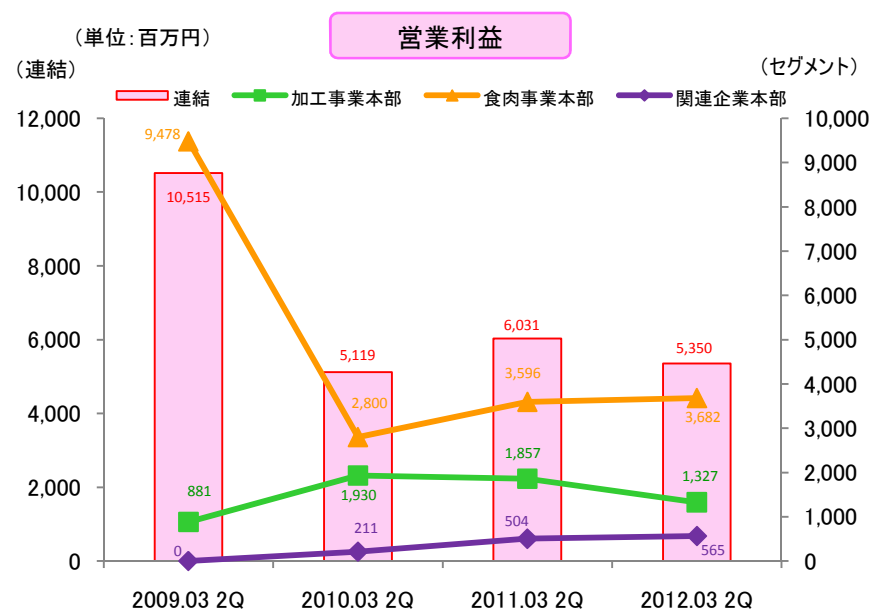
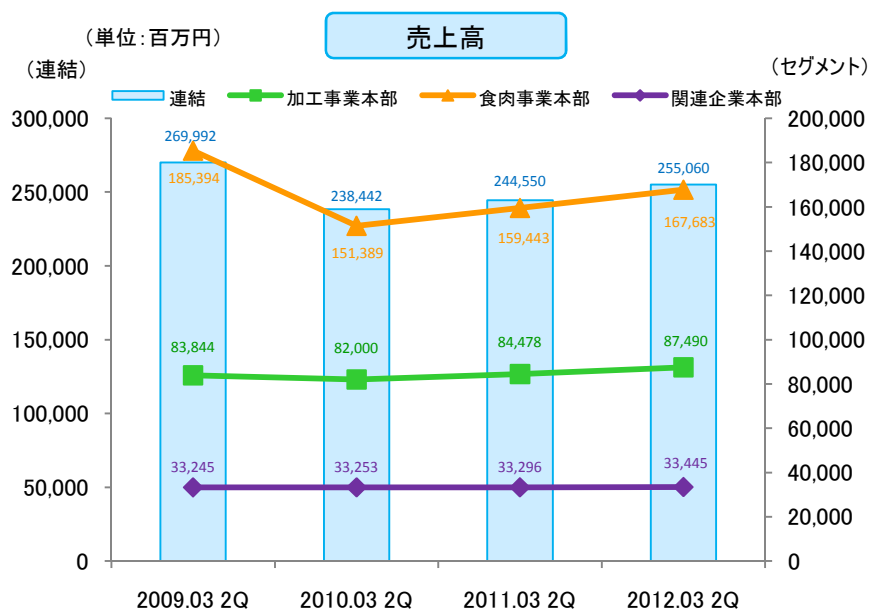
1. オペレーティング・セグメント情報 第2四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 上期累計
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別業績実績

1. オペレーティング・セグメント情報 第2四半期

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

		2009.03 2Q	2010.03 2Q	2011.03 2Q	2012.03 2Q
加工事業本部	売上高	83,844	82,000	84,478	87,490
	営業利益	881	1,930	1,857	1,327
食肉事業本部	売上高	185,394	151,389	159,443	167,683
	営業利益	9,478	2,800	3,596	3,682
関連企業本部	売上高	33,245	33,253	33,296	33,445
	営業利益	0	211	504	565
消去調整他	売上高	△ 32,491	△ 28,200	△ 32,667	△ 33,558
	営業利益	156	178	74	△ 224
連結合計	売上高	269,992	238,442	244,550	255,060
	営業利益	10,515	5,119	6,031	5,350



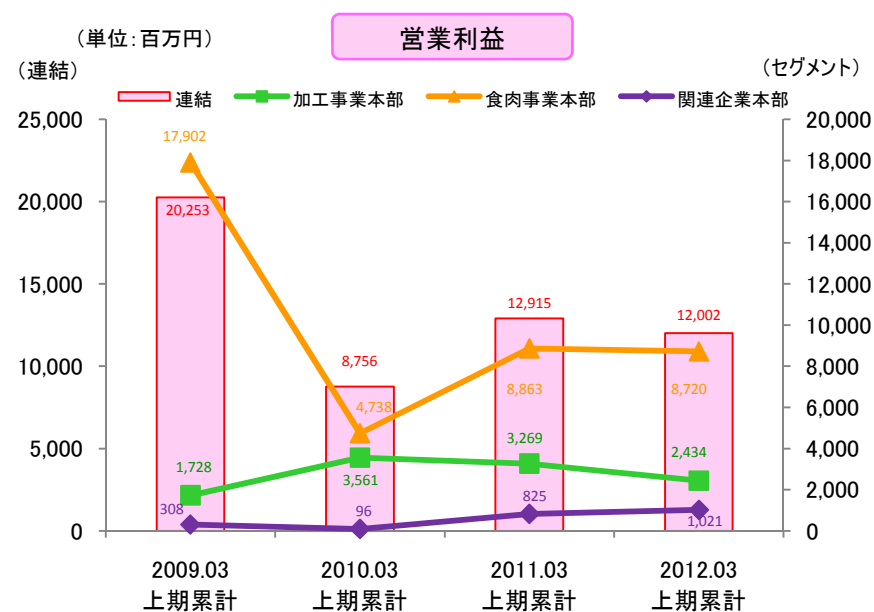
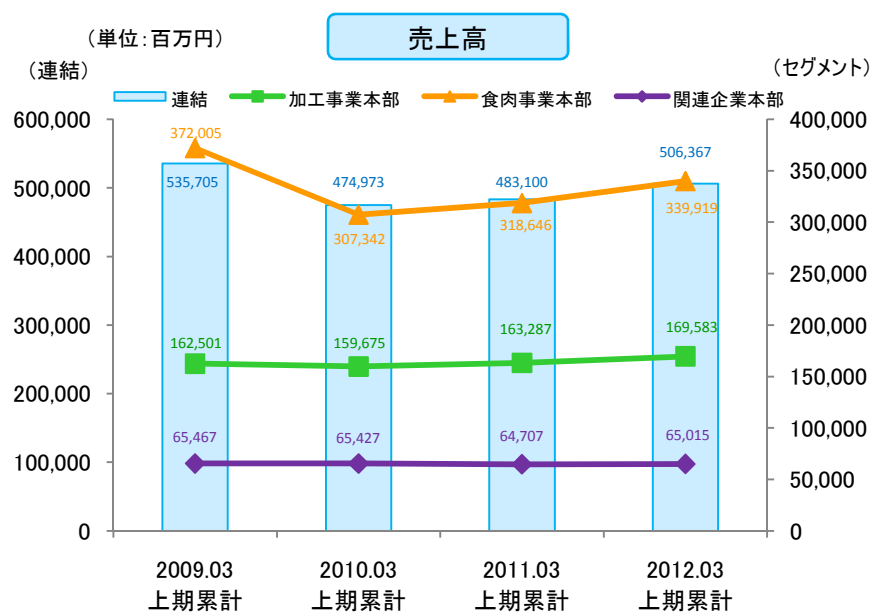
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P18の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

2. オペレーティング・セグメント情報 上期累計

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

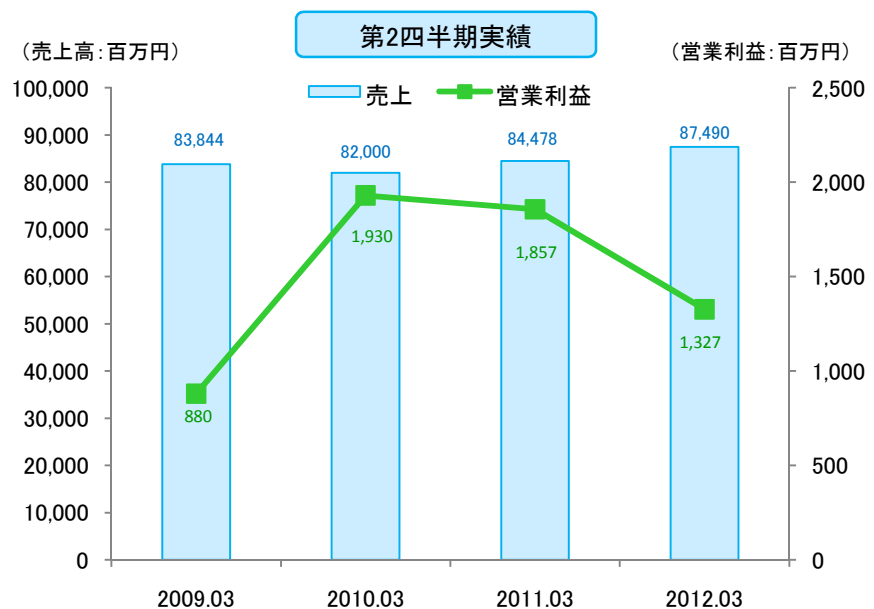
		2009.03 上期累計	2010.03 上期累計	2011.03 上期累計	2012.03 上期累計
加工事業本部	売上高	162,501	159,675	163,287	169,583
	営業利益	1,728	3,561	3,269	2,434
食肉事業本部	売上高	372,005	307,342	318,646	339,919
	営業利益	17,902	4,738	8,863	8,720
関連企業本部	売上高	65,467	65,427	64,707	65,015
	営業利益	308	96	825	1,021
消去調整他	売上高	△ 64,268	△ 57,471	△ 63,540	△ 68,150
	営業利益	315	361	△ 42	△ 173
連結合計	売上高	535,705	474,973	483,100	506,367
	営業利益	20,253	8,756	12,915	12,002



※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P18の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部①

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



(単位: 百万円)

	2011.03 2Q	2012.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	84,478	87,490	3,012	3.6
営業利益	1,857	1,327	△ 530	△ 28.5
営業利益率	2.2%	1.5%	-	-

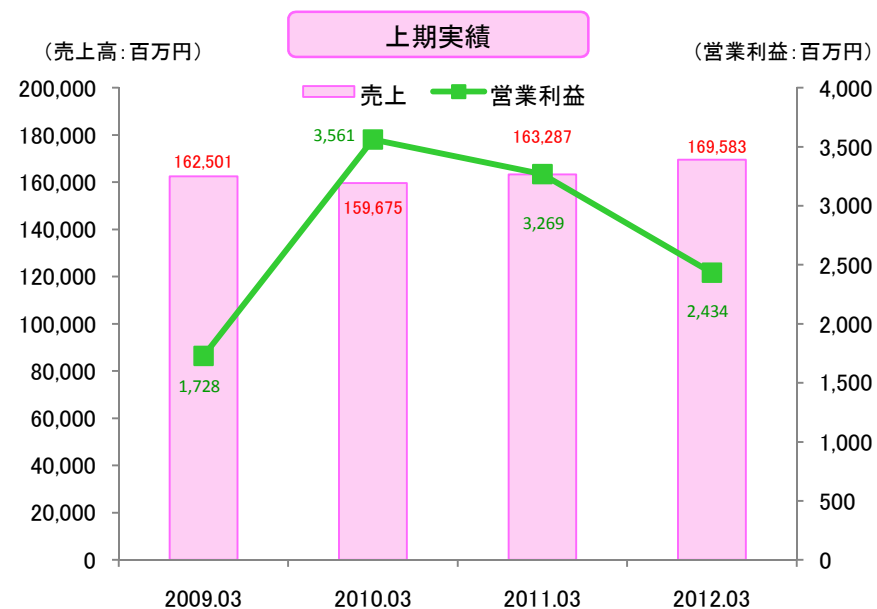
【第2四半期の状況】

(売上高)

- ・『シャウエッセン』を中心としたコンシューマ商品の伸長により販売数量、販売金額とも伸長

(営業利益)

- ・原材料・燃料価格の高騰及び、コスト削減が震災後の製造移管等により、計画通りに進捗せず減益



(単位: 百万円)

	2011.03 上期累計	2012.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	163,287	169,583	6,296	3.9
営業利益	3,269	2,434	△ 835	△ 25.5
営業利益率	2.0%	1.4%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

- ・2大新製品ブランドの集中取り組みの成果が売上拡大へ寄与(『森の薫り新あらびきウインナー』、『彩りキッチン』)

(営業利益)

- ・主力商品の伸長鈍化と、コスト削減が計画通りに進捗せず減益

●トピックス(上期累計)

【原料・資材価格の上昇による営業利益への影響】

- ⇒主原料価格 ……主に豚肉と鶏肉の高騰の影響
- ⇒副資材・燃料等……主に羊腸とフライオイルの高騰の影響

【加工事業本部トータルでの増減額】

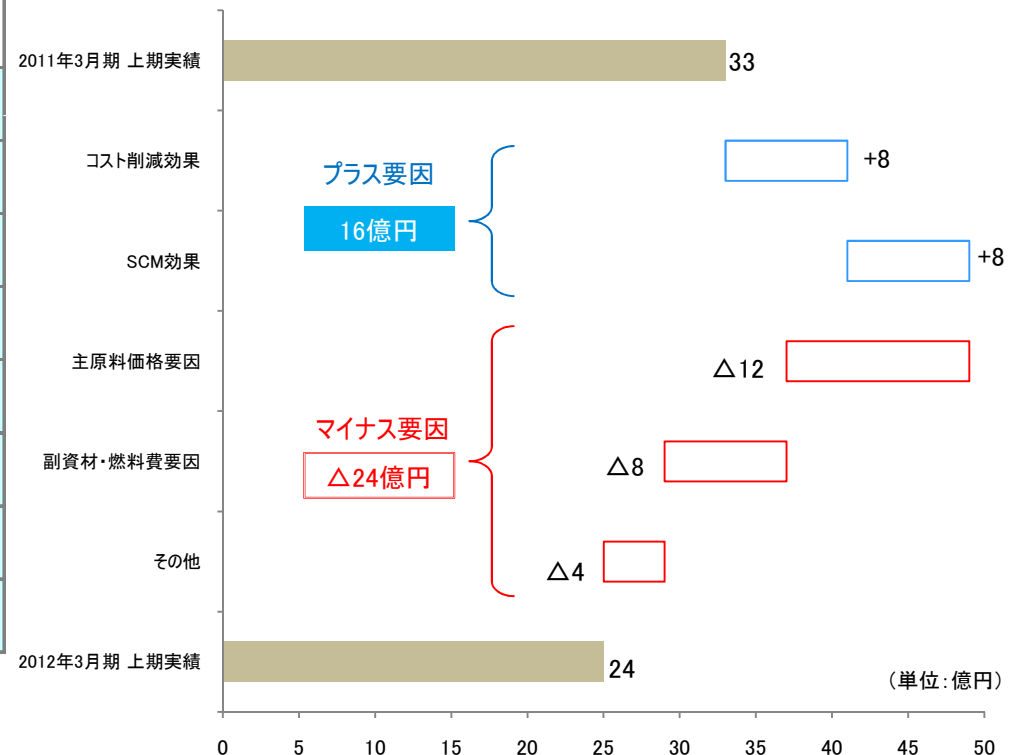
⇒SCM改革が順調に効果を発現(8億円)した一方、コスト削減が計画通り進捗せず減益

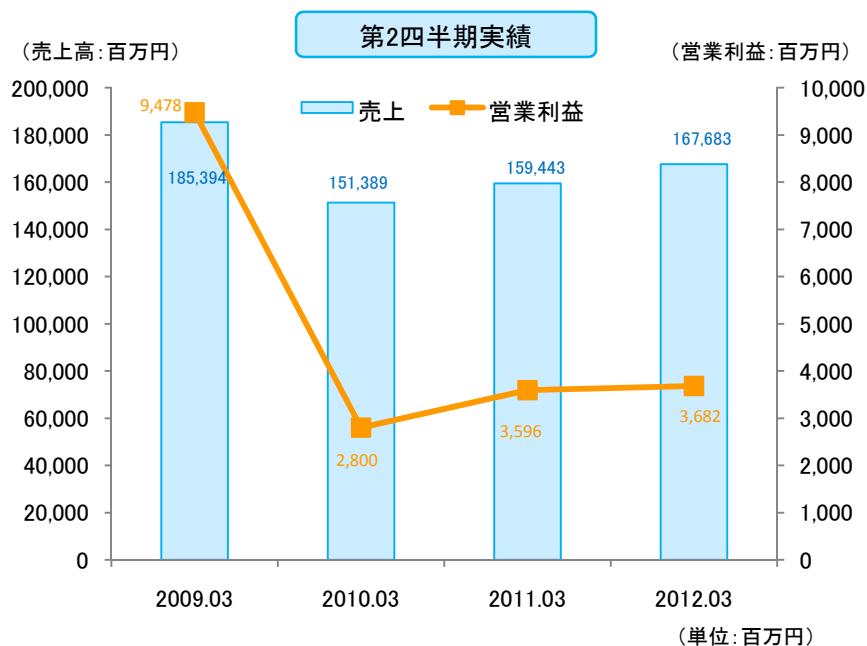
【営業利益増減要因分析】

	2012.03 実績		
	1Q	2Q	上期
コスト改善効果	6億円	2億円	8億円
SCM効果	5億円	3億円	8億円
主原料・副資材要因			
(内訳)主原料価格	△7億円	△5億円	△12億円
(内訳)副資材・燃料等	△4億円	△4億円	△8億円
その他	△3億円	△1億円	△4億円
合計	△3億円	△5億円	△8億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

【上期累計実績の増減要因グラフ】





	2011.03 2Q	2012.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	159,443	167,683	8,240	5.2
営業利益	3,596	3,682	86	2.4
営業利益率	2.3%	2.2%	-	-

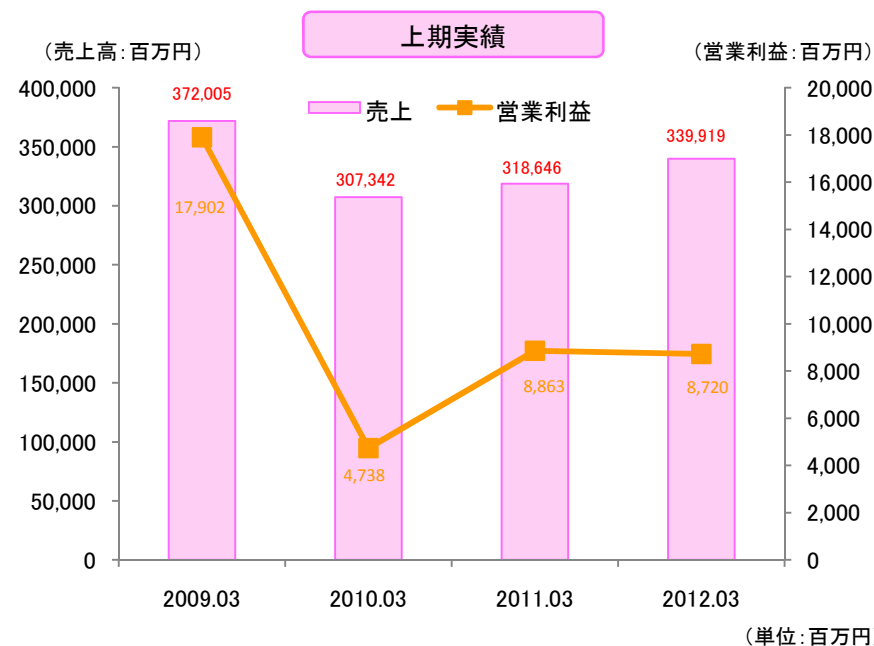
【第2四半期の状況】

(売上高)

- ・国内販売は数量が回復し、相場も堅調なことから増収。
- 海外の販売も大幅な数量増となったことから増収

(営業利益)

- ・国内生産は相場上昇で収支改善。海外は豪州が仕入コスト(牛生体価格)上昇と豪ドル高で苦戦したが、米州は増益



	2011.03 上期累計	2012.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	318,646	339,919	21,273	6.7
営業利益	8,863	8,720	△ 143	△ 1.6
営業利益率	2.8%	2.6%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

- ・国内、海外ともに販売数量が堅調に推移したこと、相場の上昇により増収

(営業利益)

- ・国内生産が相場上昇で収支改善したが、海外(豪州)が仕入コスト(牛生体価格)上昇と豪ドル高で苦戦したため減益

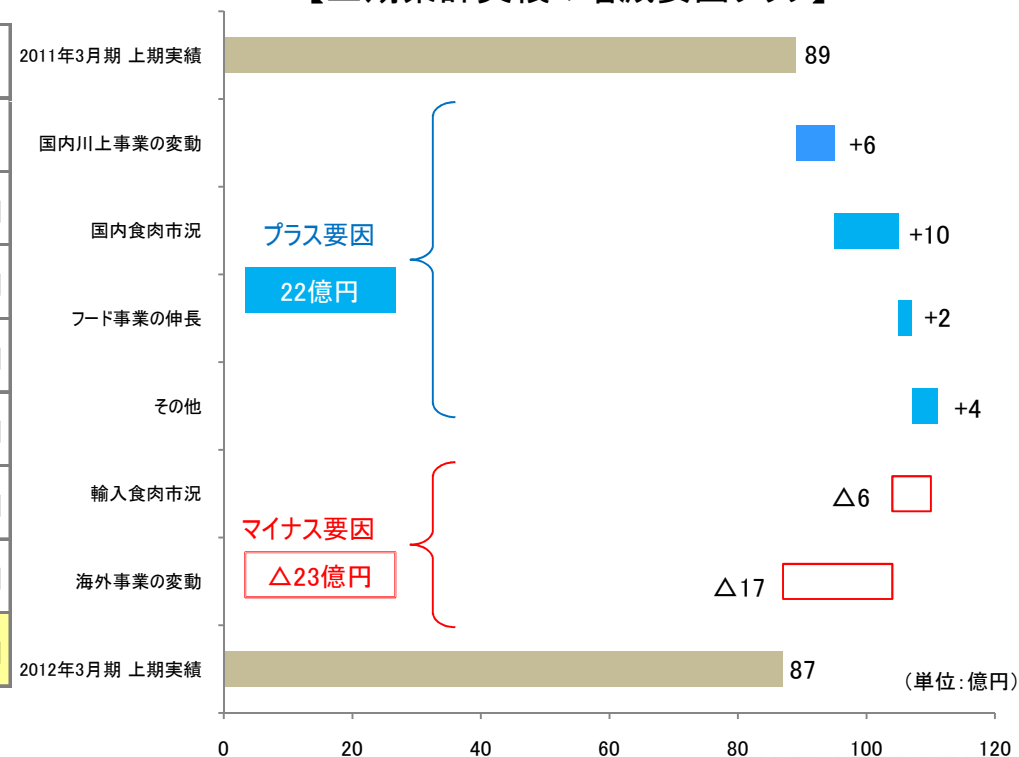
●トピックス(上期累計)

- ・国内の養鶏、養豚事業は生産コスト改善と、相場上昇の影響もあり収支改善。国内養牛事業は、相場が下落し苦戦
- ・国産鶏肉、豚肉の販売は、前年の疾病や震災等の影響で減少した数量も、8月以降は回復
- ・輸入食肉は牛肉、鶏肉が価格上昇もあり苦戦。豚肉は国内生産の不足をカバーし、堅調に推移
- ・海外は、豪州事業は仕入コスト(牛生体価格)の上昇や、豪ドル高の影響で輸出採算が悪化。米州事業は第2四半期に入り増益
- ・フード会社は、第1Qは国内食肉の供給減や震災による特売自粛の影響で販売数量が微減。第2Qに入り、回復傾向。
また上期累計の数量は、前年以上を確保(数量:101.5%)

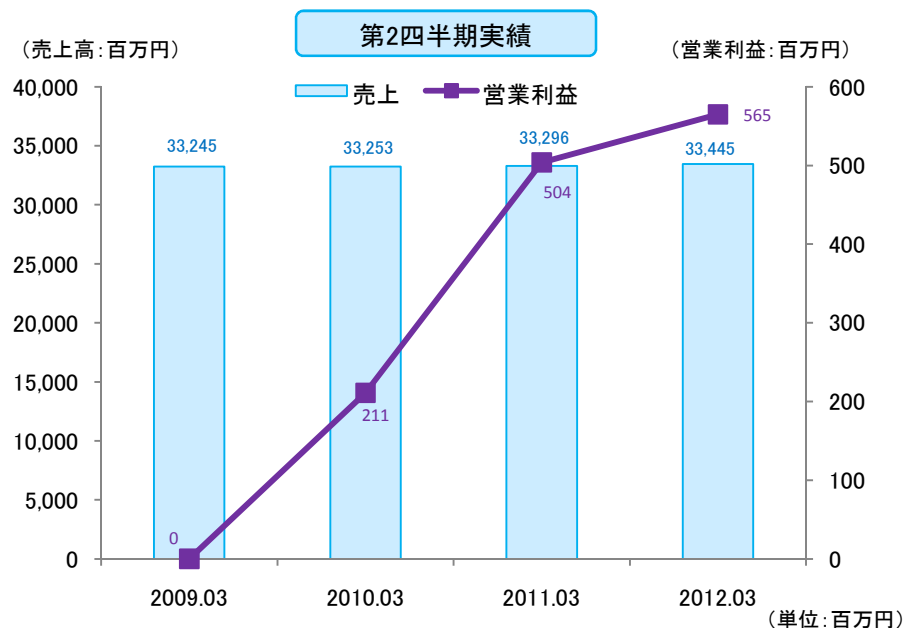
【営業利益増減要因分析】

	2012.03 実績		
	1Q	2Q	上期
国内川上事業の変動	2億円	4億円	6億円
国内食肉市況	4億円	6億円	10億円
フード事業の伸長	2億円	0億円	2億円
その他	2億円	2億円	4億円
輸入食肉市況	△3億円	△3億円	△6億円
海外事業の変動(豪州、米州)	△9億円	△8億円	△17億円
合計	△2億円	1億円	△1億円

【上期累計実績の増減要因グラフ】



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます



	2011.03 2Q	2012.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	33,296	33,445	149	0.4
営業利益	504	565	61	12.1
営業利益率	1.5%	1.7%	-	-

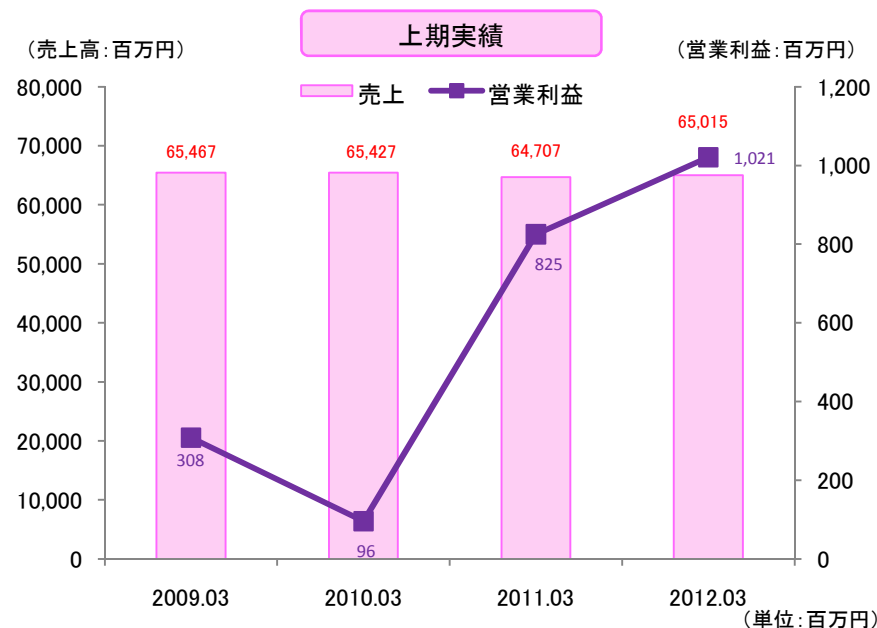
【第2四半期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、マリンフーズにおいて量販店チャンネルで売上が伸長したが、寿司店チャンネルで苦戦
- ・乳製品は、チーズの売上が伸長したが、第1四半期で好調だったヨーグルトの売上が苦戦

(営業利益)

- ・水産事業は、重点商品である自社工場製品と海老関連商材の販売強化により収益が拡大
- ・チーズは、商品構成の変化による利益率の低下があり、昨年実績を下回った



	2011.03 上期累計	2012.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	64,707	65,015	308	0.5
営業利益	825	1,021	196	23.8
営業利益率	1.3%	1.6%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、相場上昇により宝幸の販売が苦戦したが、マリンフーズは量販店チャンネルを中心に売上が順調に伸長
- ・乳製品は、特にチーズの食品メーカー、CVSチャンネル向けの売上が順調に推移し増収

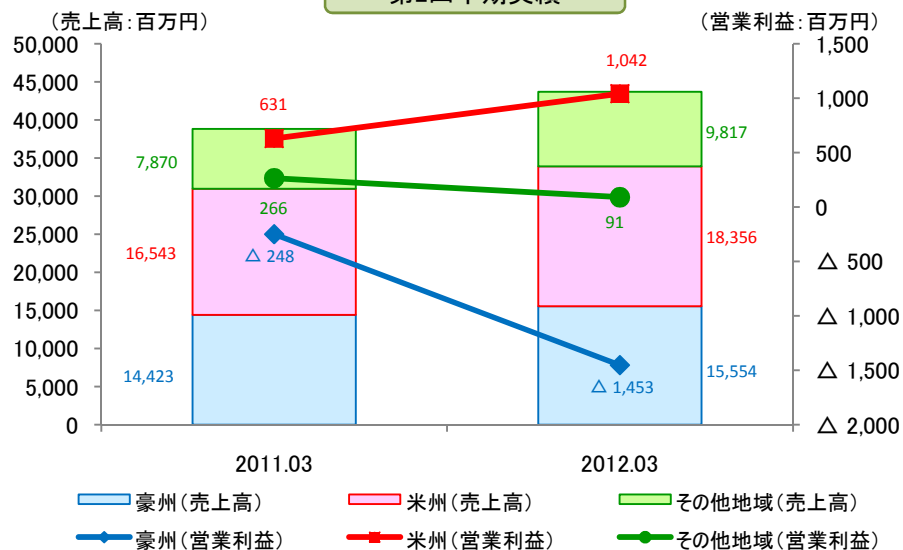
(営業利益)

- ・水産は、自社工場製品と販売好調な海老、鮭の伸長により、利益が拡大
- ・ヨーグルトは、販売条件の見直しや商品の絞込みにより、利益が改善

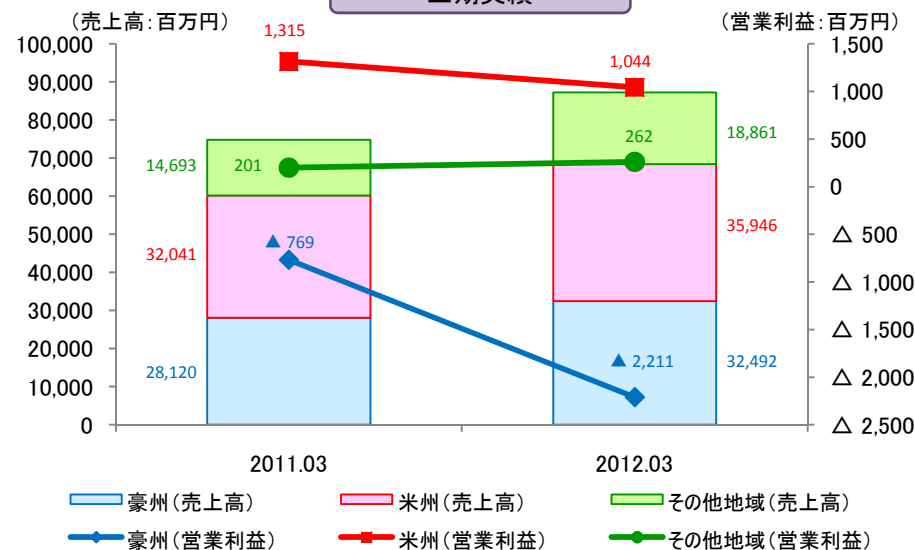
6. 海外 主要所在地別業績実績

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

第2四半期実績



上期実績



		2011.03 2Q	2012.03 2Q	前年差	前年比
海外計	売上高	37,862	42,978	5,116	13.5
	営業利益	630	△ 305	△ 935	-
豪州	売上高	14,423	15,554	1,131	7.8
	営業利益	△ 248	△ 1,453	△ 1,205	-
米州	売上高	16,543	18,356	1,813	11.0
	営業利益	631	1,042	411	65.1
その他地域	売上高	7,870	9,817	1,947	24.7
	営業利益	266	91	△ 175	△ 65.8

		2011.03 上期累計	2012.03 上期累計	前年差	前年比
海外計	売上高	73,071	85,896	12,825	17.6
	営業利益	717	△ 894	△ 1,611	-
豪州	売上高	28,120	32,492	4,372	15.5
	営業利益	△ 769	△ 2,211	△ 1,442	-
米州	売上高	32,041	35,946	3,905	12.2
	営業利益	1,315	1,044	△ 271	△ 20.6
その他地域	売上高	14,693	18,861	4,168	28.4
	営業利益	201	262	61	30.3

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

【第2四半期の状況】

(豪州)

- ・現地での仕入コスト(牛生体価格)の高騰、豪ドル高の影響で減益

(米州)

- ・養豚事業は第2四半期以降の豚相場回復により収支改善

(アジア)

- ・タイは増産効果があったものの、原料高が影響し、減益

【上期の状況】

(豪州)

- ・現地での仕入コスト(牛生体価格)の高騰及び、豪ドル高の影響で減益

(米州)

- ・第2四半期に入り収益改善したが、第1四半期の減益をカバーしきれず減益

(アジア)

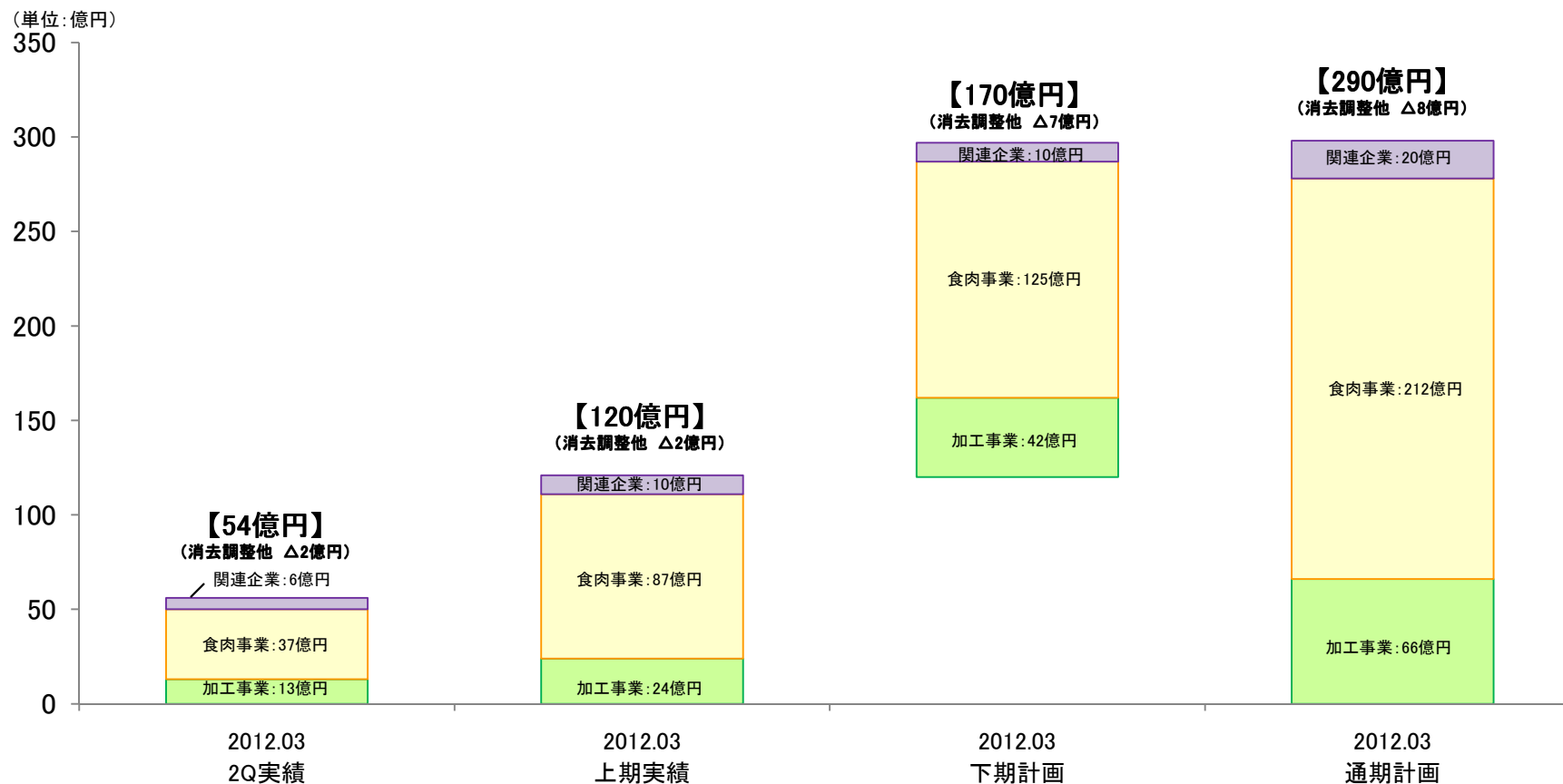
- ・アジア全域で売上が好調に推移し、増益

Ⅱ. 2012年3月期 下期以降の見通し

1. 第2四半期の営業利益実益と要因分析および下期・通期計画
2. 加工事業本部(売上拡大施策)
3. 食肉事業本部(市場環境)
4. 関連企業本部(売上拡大施策)

1. 第2四半期の営業利益実績と要因分析および下期・通期計画

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



	2012.03 2Q実績			2012.03 上期実績			2012.03 下期計画			2012.03 通期計画		
	2011.03 2Q実績		増減	2011.03 上期実績		増減	2011.03 下期実績		増減	2011.03 通期実績		増減
加工事業本部	19億円	13億円	△5億円	33億円	24億円	△8億円	53億円	42億円	△11億円	86億円	66億円	△20億円
食肉事業本部	36億円	37億円	+1億円	89億円	87億円	△1億円	151億円	125億円	△26億円	240億円	212億円	△28億円
関連企業本部	5億円	6億円	+1億円	8億円	10億円	+2億円	9億円	10億円	+1億円	17億円	20億円	+3億円
消去調整他	1億円	△2億円	△3億円	△0億円	△2億円	△1億円	△10億円	△7億円	+3億円	△11億円	△8億円	+3億円
合計	60億円	54億円	△7億円	129億円	120億円	△9億円	203億円	170億円	△33億円	332億円	290億円	△42億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

2. 加工事業本部(売上拡大施策)

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

●ギフト売上拡大施策

- ・中元ギフト実績は、195万個(前年比100%)
- ・新たに取り組んだ惣菜ギフトを含む実績は200万個
- ・旗艦ブランドの『美ノ国』は、前年比123%で大きく伸長
- ・歳暮ギフトは500万個(前年比102%)の目標
- ・惣菜ギフトを合わせて、トータルで515万個を目指す

【(参考)ギフト販売個数】

(単位:千個)

	2011.03 実績		2012.03 実績と計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	1,956	102%	1,956	100%
歳暮ギフト販売個数	4,905	102%	5,000	102%
合計	6,861	102%	6,956	101%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・2大新製品、歳暮ギフト等を拡大し、収益改善を図る
(『森の薫り新あらびきウインナー』、『彩りキッチン』)

②加工食品

- ・重点ブランドの集中化と、商品リニューアルを中心に収益改善を進める

【(参考) 2012年3月期上期 主要ブランド商品売上高伸び率(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2012.03 上期実績	加工食品	2012.03 上期実績
シャウエッセン	99%	石窯工房群	98%
森の薫り新あらびきウインナー	133%	中華名菜群	101%
彩りキッチン(ロース)	139%	プリフライ群	100%
ロースハム群	109%	ハンバーグ・ミートボール群	106%
ベーコン群	108%	カレー群	112%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・ハム・ソーセージは、『シャウエッセン』、『森の薫り』、『彩りキッチン』の3ブランドの拡販を中心に、売上拡大を図る
- ・加工食品は、主カブランド商品を中心に拡大を図る

②業務用

- ・加工食品について、大型商品を集中販売し、ライン効率を高め収益改善を進める

【(参考)2012年3月期上期 チャネル別売上高伸び率(対前年同期比)】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	103%	99%	102%
加工食品	101%	102%	102%

●海外事業の状況

- ①豪州事業の現状
 - ・仕入コスト(牛生体価格)の高騰、豪ドル高の影響で減益
- ②米州事業の現状
 - ・養豚事業は第2四半期以降の豚相場回復により収益改善



●海外事業の見通し

- ①豪州事業の見通し
 - ・引き続き原価低減による利益率の改善と、ハラル市場開拓や、ロシア、アジア等向けの販売増加を目指す
- ②米州事業の見通し
 - ・豚肉相場は、季節要因で下落の見通し。一方、飼料コストは上昇傾向。品種改良や生産コスト削減を継続

●国内生産事業の状況

- ①飼料価格の現状
 - ・前期より価格が上昇
- ②国内ファーム事業の現状
 - ・養鶏事業は、期初は鳥インフルエンザや震災の影響で出荷が減少したものの、8月以降は前年を上回る
 - ・養豚事業は、昨夏の猛暑の影響による頭数減と震災の影響で前半回復が遅れたものの、第2四半期以降、回復
 - ・養牛事業は、相場が下落し苦戦



●国内生産事業の見通し

- ①飼料価格の見通し
 - ・穀物相場の下落もあり、下期以降は横ばいの見込み
- ②国内ファーム事業の見通し
 - ・国産鶏は種鶏の入れ替えも年内には完了。年末の需要期に向けた増産と、相場堅調の見込みから好調を維持
 - ・豚肉相場は季節要因で下落の見通しだが、生産コスト低減効果もあり、前年より採算改善を見込む
 - ・牛肉相場は、年末需要期に向け、徐々に回復の見通し

●フード会社の状況

- ・国内産食肉の生産減や、震災による特売自粛の影響で苦戦したが、8月以降は数量が目標の伸びを回復(105%)。上期では前年以上を維持(101.5%)



●フード会社の見通し

- ・重点取り組みである量販店攻略と国内牛の拡販を更に強化し、下期について昨年比105%以上を目指す

●水産事業の状況

- ・マリンフーズにおいて自社工場製品の販売強化もあり、量販店チャンネルの売上が順調に伸長
- ・外食チャンネルは、主要である寿司店チャンネルで苦戦

【(参考) マリンフーズ(株) チャンネル別売上金額伸び率】

	対前年比	
	2012.03 上期実績	
量販店チャンネル		103%
外食チャンネル		98%

●今後の方針

- ・量販店での年末商材の商談を強化(かに、つみれ団子など鍋商材等)
- ・国内自社工場製品拡販による利益率の向上
- ・重点商品である海老関連商材の拡販によるシェア拡大

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2012.03 上期実績	2012.03 通期計画
	自社工場製品	4,690トン
対前年比	107%	108%

●乳製品事業の状況

- ・チーズは、製パンチャンネル向けの販売が復調傾向。CVSチャンネルと食品メーカー向けへの販売は好調に推移
- ・ヨーグルトは、CVSチャンネル向けドリンクヨーグルトの販売が好調に伸長するが、量販店チャンネルで苦戦

【(参考) 乳製品商品別売上高伸び率】

	対前年比	
	2012.03 上期実績	
チーズ		106%
ヨーグルト		94%

●今後の方針

- ・チーズは、製パンチャンネル向けへの販売の強化とコンシューマ商品の拡販
- ・ヨーグルトは、引き続きCVSチャンネル向けのドリンクヨーグルトの増産と拡販。また、主力のバニラヨーグルト商品群のラインナップ拡充による量販店チャンネル、生協チャンネルの攻略

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、安定的に推移していたが、7月以降は上昇
- ・ヨーグルト原料は、国産、輸入原料ともに昨年に比べ上昇

●今後の見通し

- ・チーズ原料は、輸入原料が上昇しているが、来期は横ばい、または弱含みの見込み
- ・ヨーグルト原料は、輸入原料については下期以降、横ばい傾向

Ⅲ. 2012年3月期 第2四半期財務データ

1. 第2四半期連結業績概要
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他収益、その他費用
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュ・フロー、経営指標

1. 第2四半期連結業績概要

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

	2011年3月期実績				2012年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	前年比	下期 累計実績	通期 累計実績	上期 累計実績	前年比	下期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	483,100	1.7	506,208	989,308	506,367	4.8	513,633	1.5	1,020,000	3.1
ハム・ソーセージ	64,654	△ 3.0	70,287	134,941	65,628	1.5	72,372	3.0	138,000	2.3
加工食品	97,438	5.2	100,307	197,745	99,980	2.6	102,020	1.7	202,000	2.2
食肉	259,688	3.7	270,466	530,154	277,107	6.7	272,893	0.9	550,000	3.7
牛肉	93,422	△ 1.9	98,961	192,383	101,883	9.1	98,117	△ 0.9	200,000	4.0
豚肉	97,314	4.6	98,443	195,757	101,123	3.9	100,877	2.5	202,000	3.2
鶏肉	56,791	13.1	62,466	119,257	62,009	9.2	62,991	0.8	125,000	4.8
その他食肉	12,161	0.8	10,596	22,757	12,092	△ 0.6	10,908	2.9	23,000	1.1
水産	38,963	△ 2.4	41,472	80,435	39,135	0.4	42,865	3.4	82,000	1.9
乳製品	10,941	△ 3.6	10,962	21,903	11,343	3.7	11,657	6.3	23,000	5.0
その他	11,416	△ 18.1	12,714	24,130	13,174	15.4	11,826	△ 7.0	25,000	3.6
売上原価	386,773	1.7	399,105	785,878	411,093	6.3				
売上総利益	96,327	1.9	107,103	203,430	95,274	△ 1.1				
売上総利益率	19.9%	-	21.2%	20.6%	18.8%	-				
販売費及び一般管理費	83,412	△ 2.7	86,843	170,255	83,272	△ 0.2				
営業利益	12,915	47.5	20,260	33,175	12,002	△ 7.1	16,998	△ 16.1	29,000	△ 12.6
税引前利益	11,358	33.3	18,165	29,523	9,577	△ 15.7	14,423	△ 20.6	24,000	△ 18.7
当社株主帰属当期純利益	6,782	25.5	9,949	16,731	4,799	△ 29.2	7,701	△ 22.6	12,500	△ 25.3

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2. 連結売上区分別伸び率、所在地別セグメント情報

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2011年3月期 (対前年同期比)				2012年3月期 (対前年同期比)			
	第2四半期		上期累計		第2四半期		上期累計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	1.0	△ 2.1	1.2	△ 3.0	2.3	1.6	1.7	1.5
加工食品	9.6	3.7	11.3	5.2	1.5	2.6	2.4	2.6
食肉	2.7	5.3	3.2	3.7	5.5	6.0	3.0	6.7
牛肉	△ 0.1	1.0	△ 1.5	△ 1.9	11.7	4.6	11.8	9.1
豚肉	△ 1.1	5.3	1.2	4.6	4.0	4.3	2.2	3.9
鶏肉	11.1	15.1	10.7	13.1	3.7	13.3	△ 2.5	9.2
その他食肉	△ 1.0	0.2	△ 1.0	0.8	△ 5.2	△ 3.5	△ 2.4	△ 0.6

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円, %)

	2011年3月期実績			2012年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	下期 累計実績	通期 累計実績	上期 実績	前年比	下期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
国内売上高	448,901	470,532	919,433	464,720	3.5	474,680	0.9	939,400	2.2
外部顧客売上高	448,638	470,250	918,888	464,279	3.5	474,121	0.8	938,400	2.1
セグメント間内部売上高	263	282	545	441	67.7	559	98.2	1,000	83.5
国内営業利益	11,840	18,045	29,885	12,746	7.7	16,054	△ 11.0	28,800	△ 3.6
国内売上高営業利益率	2.6%	3.8%	3.3%	2.7%	-	3.4%	-	3.1%	-
海外売上高	73,071	75,910	148,981	85,896	17.6	77,704	2.4	163,600	9.8
外部顧客売上高	34,462	35,958	70,420	42,088	22.1	39,512	9.9	81,600	15.9
セグメント間内部売上高	38,609	39,952	78,561	43,808	13.5	38,192	△ 4.4	82,000	4.4
海外営業利益	717	2,249	2,966	△ 894	-	1,094	△ 51.4	200	△ 93.3
海外売上高営業利益率	1.0%	3.0%	2.0%	△ 1.0%	-	1.4%	-	0.1%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他収益、その他費用

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

《販管費》		2011年3月期 上期実績	上期実績	2012年3月期 対前年増減率	対前年増減額
★①	販売費および一般管理費	83,412	83,272	△ 0.2	△ 140
★②	人件費	33,605	33,078	△ 1.6	△ 527
★③	広告宣伝費	5,484	5,209	△ 5.0	△ 275
★④	物流費	18,375	19,127	4.1	752
	その他	25,948	25,858	△ 0.3	△ 90

主な増減要因

- ★① 販管費 売上高販管比率は 17.3% から 16.4% へ 0.9ポイント低下
- ★② 人件費 給与手当の減少等により約5億円減少
- ★③ 広告宣伝費 販売促進費の減少等で約3億円減少
- ★④ 物流費 冷蔵費が2億円減少したものの、売上数量の増加により運賃が約8億円増加

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期 上期累計実績	上期累計実績	2012年3月期 対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	645	1,060	64.3	415
受取利益・配当金	278	453	62.9	175
その他	367	607	65.4	240
支払利息	1,069	956	△ 10.6	△ 113
★① その他費用合計	1,133	2,529	123.2	1,396
有価証券売却・評価損	206	117	△ 43.2	△ 89
固定資産減損	136	820	502.9	684
特別退職金	-	15	-	15
為替差損	539	1,553	188.1	1,014
その他	252	24	△ 90.5	△ 228

主な増減要因

- ★① その他費用 固定資産減損損失や為替差損等で、約14億円の増加

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

「連結貸借対照表」	2011年3月期 期末実績	2012年3月期 第2四半期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★① 資産合計	590,688	584,256	△ 1.1	△ 6,432
現金及び現金同等物	51,409	59,002	14.8	7,593
★② 売上債権	104,501	105,779	1.2	1,278
★③ 棚卸資産	107,599	118,951	10.6	11,352
有形固定資産	219,324	213,451	△ 2.7	△ 5,873
投資及びその他の資産	27,764	27,743	△ 0.1	△ 21
長期繰延税金資産	15,993	15,382	△ 3.8	△ 611
負債合計	307,484	299,471	△ 2.6	△ 8,013
支払手形及び買掛金	90,317	94,466	4.6	4,149
★④ 有利子負債	155,263	147,314	△ 5.1	△ 7,949
退職金及び年金債務	17,581	17,487	△ 0.5	△ 94
当社株主資本	281,067	282,562	0.5	1,495
非支配持分	2,137	2,223	4.0	86
資本合計	283,204	284,785	0.6	1,581

主な増減要因

- ★① 資産合計 主に有形固定資産で約64億円の減少
- ★② 売上債権 売上高増加により約13億円増加
- ★③ 棚卸資産 季節変動要因により約114億円の増加
- ★④ 有利子負債 借入金の返済等より約80億円の減少

(単位: 百万円、%)

「設備投資額、減価償却費」	2011年3月期 第2四半期実績	2012年3月期 第2四半期実績	対前年増減率	対前年増減額	2012年3月期 通期計画
設備投資額	8,076	7,177	△ 11.1	△ 899	23,400
生産設備	3,725	3,537	△ 5.0	△ 188	9,200
販売・物流設備	948	1,015	7.1	67	4,300
ファーム・処理設備	1,647	1,373	△ 16.6	△ 274	5,900
海外事業設備	974	580	△ 40.5	△ 394	2,000
その他設備	782	672	△ 14.1	△ 110	2,000
減価償却費	11,821	11,666	△ 1.3	△ 155	24,000

5. 連結キャッシュ・フロー、経営指標

Copyright (C) 2011 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2011年3月期	2012年3月期	
	上期実績	上期実績	対前年増減額
★① 営業活動キャッシュ・フロー	5,820	5,177	△ 643
投資活動キャッシュ・フロー	△ 1,282	12,803	14,085
財務活動キャッシュ・フロー	△ 4,172	△ 9,733	△ 5,561

主な増減要因

★① 営業キャッシュ・フローの主な内訳	2011年3月期	2012年3月期
	上期実績	上期実績
売上債権の増	△2,519	△1,741
棚卸資産の増	△15,338	△12,851

(単位:百万円)

《B/S 経営指標等》	2011年3月期	2012年3月期		2012年3月期当初計画 新中期経営計画パートⅢ
	上期実績	上期実績	対前年増減額	
ROA(税引前)	1.9%	1.6%	-	4.8%
株主資本比率	44.8%	48.4%	-	49.4%
有利子負債	185,357	147,314	△ 38,043	170,000
D/Eレシオ(倍)	0.68	0.52	-	0.54

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。